

# 平成27年度「第4期 大和市地域福祉計画」評価シート

地域福祉計画体系	基本目標 ①	みんなが地域づくりに関わり、みんなで支え合えるまち
	個別目標 ①	福祉への理解と関心を高めます
	達成された姿	福祉について考える人が増えている 福祉に関する様々な学習機会が提供されることにより、福祉について考える人が増えています。

指標の名称	第4期 大和市地域福祉計画				
	計画策定時 (H24)	実績値 (H27)	中間目標値 (H28)	最終目標値 (H30)	
成果を計る 主な指標	(1) 介護予防普及啓発事業等開催回数	13回	39回	17回	19回
	(2) 車いすバスケットボール体験講座実施学校数 ( )内は参加人数	8校 (1,183人)	14校 (1,980人)	11校	13校
参考指標	(3) 社会を明るくする運動街頭キャンペーン参加者数	70人	60人	—	—
	(4) こころサポーター養成講座受講者数	43人	77人	—	—
	(5) 夏休み福祉体験チャレンジ学習参加者数	8人	56人	—	—
	(6) 福祉の心啓発講演会実施学校数 ( )内は参加人数	4校 (323人)	2校 (646人)	—	—

主な取り組み	福祉課題に関する講座や講演を開催します。
	・認知症講演会、成年後見講演会を開催しました。(高齢福祉課) ・やまと自殺フォーラムを開催しました。(障がい福祉課) ・こころサポーター養成講座を開催しました。(障がい福祉課) ・福祉推進委員会において、福祉の心啓発講演会を実施しました。(健康福祉総務課)
	障がい者の就労移行支援や、就労継続支援事業所等の活動内容の紹介や展示販売を行います。
	・障害者サービス提供事業所等が行う物品販売の支援について、販売場所を提供することにより、販売の促進と活動の啓発等を行いました。(障がい福祉課)
	小中学校での障がい者との交流や年代が異なる人の交流を進めます。
	・夏休み福祉体験チャレンジ学習による、ボランティアを通じた体験学習において、年代が異なる人との交流を進めました。(健康福祉総務課) ・車いすバスケットボール体験講座を実施することにより、障がいのある講師との交流や障がいについて考えるきっかけとなりました。(健康福祉総務課)

成果と課題	・目的別のさまざまなテーマの講座や講演会の回数等を増やし、展示販売の支援などを継続実施することにより、より多くの人に対して、福祉についての理解と関心を高めることができました。 ・小中学校に関しては車いすバスケットボール体験講座や夏休み福祉体験チャレンジ学習など、実際の交流を通じて、福祉について理解を深める事業を継続して実施しました。今後も福祉をより身近に感じ理解を深めってもらうため、体験型・交流型の事業を実施する必要があります。
-------	---

審議見会の	成果を計る主な指標から、事業の充実が図られていると評価できます。 障がい者の物品販売等については、場所や機会のさらなる充実に努めてください。
-------	---

# 平成27年度「第4期 大和市地域福祉計画」評価シート

地域福祉計画体系	基本目標 ①	みんなが地域づくりに関わり、みんなで支え合えるまち
	個別目標 ②	福祉活動の担い手を育成し活動を支援します
	達成された姿	福祉活動をする人が増え、団体がいきいきと活動している  新たに福祉活動を始める人が増えています。 また、福祉活動を展開する団体が活発に活動しています。

指標の名称		第4期 地域福祉計画			
		計画策定時 (H24)	実績値 (H27)	中間目標値 (H28)	最終目標値 (H30)
成果を計る 主な指標	(1) ファミリーサポートセンター支援会員数	累計 130人	累計140人	累計 160人	累計 175人
	(2) こころサポーター養成講座受講者数	累計 407人	累計633人	累計 567人	累計 647人
	(3) 介護予防サポーター養成講座受講者数	累計 645人	累計1,067人	累計 1,165人	累計 1,425人
参考指標	(4) 子育て支援ボランティア養成講座受講者数	8人	11人	—	—
	(5) ふれあいネットワークボランティア育成研修参加者数	501人	519人	—	—
主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育や介護予防等のボランティア養成講座を開催し、市民ボランティアを養成します。</li> <li>・子育て支援ボランティア養成講座を開催しました。(こども総務課)</li> <li>・介護予防サポーター養成講座を実施し、受講者に自主活動の支援を行いました。(高齢福祉課)</li> <li>・高齢者の見守りやサロン運営、生活支援等の活動を行う地域ボランティア(ふれあいネットワークボランティア)の育成支援を行いました。(高齢福祉課)</li> <li>・ファミリーサポートセンターやボランティアセンターの活動を通じて、支援する人と支援を受けたい人がつながる仕組みづくりに取り組みます。</li> <li>・社会福祉協議会が行うボランティアセンターの運営を支援しました。(健康福祉総務課)</li> <li>・ピア相談の実施体制を整えていきます。</li> <li>・各障がい者団体から選出されたピア相談員が相談に応じました。(障がい福祉課)</li> <li>・ひとり親家庭相互の情報交換や交流への支援を行います。</li> <li>・母子寡婦福祉会の活動支援を通じて、ひとり親家庭相互の情報交換や交流への支援を行いました。(こども総務課)</li> </ul>				

成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種ボランティア養成講座を受講し、新たな福祉活動の担い手となった方が自主的に活動する機会が増加してきました。具体的には、介護予防サポーター養成講座の受講者数が平成26年度と比較して約25%増加し、介護予防サポーターの自主的な活動は約30%増加しました。平成28年度にも新たに健康遊具を活用した自主活動等を企画しています。今後も活動のサポートを継続・充実し、支援します。</li> <li>・ファミリーサポートセンター事業については、平成27年度から「病児お迎えサービス(病児の預かり・送迎対応)」を開始し、依頼会員が増加しているため、より充実した体制を整えます。</li> </ul>
-------	--

審議会の意見	福祉の担い手として養成された人の活躍の場を確保し、フォローアップ体制の充実に努めてください。
--------	--

# 平成27年度「第4期 大和市地域福祉計画」評価シート

地域福祉計画体系	基本目標 ①	みんなが地域づくりに関わり、みんなで支え合えるまち
	個別目標 ③	気軽に集える居場所や社会参加の場をつくります
	達成された姿	地域に安心できる居場所がある 地域に気軽に集え、社会参加の場があり、その人らしく生き生きとした生活を送っています。

指標の名称		第4期 地域福祉計画			
		計画策定時 (H24)	実績値 (H27)	中間目標値 (H28)	最終目標値 (H30)
成果を計る 主な指標	(1) つどいの広場の1か所1か月あたりの平均利用者数	2,007人	1,771人	2,100人	2,200人
	(2) 子育て応援ガイド配架箇所数	51ヶ所	90ヶ所	60ヶ所	70ヶ所
参考指標	(3) ミニサロン利用者数 ( )内は箇所数	6,202人 (32ヶ所)	6,187人 (37ヶ所)	—	—
	(4) ひまわりサロン利用者数 ( )内は箇所数	12,049人 (15ヶ所)	12,132人 (15ヶ所)	—	—
	(5) コンパスの1か月あたりの平均利用者数(延べ)	450人	638人	—	—

主な取り組み	高齢者が集い日常生活の相談や活動ができる場づくりを進めるとともに、市民の自主的な取り組みによる場づくりを支援します。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の居場所「ぷらっと中央林間」を運営しました。(高齢福祉課)</li> <li>・高齢者を対象としたミニサロンの運営を支援しました。(高齢福祉課)</li> <li>・市民による居場所づくり「茶OH!」の運営について、広報やまてで周知をしました。(健康福祉総務課)</li> </ul>
	地域における子育て支援の拠点について広く市民に周知し、利用を促します。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て応援ガイドを市内各所に配架し、健診時に配布するなど、子育て支援施設を広く周知しました。(健康福祉総務課)</li> </ul>
	障がい者が気軽に集い、安心できる場を提供します。

成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の居場所「ぷらっと」への来場者数は年々増えており、地域の居場所としての機能を十分に果たしています。今後もより来場者にとって過ごしやすい居場所を提供します。</li> <li>・行政による居場所・サロンの運営だけでなく、地域の活動団体によるミニサロン運営では開催箇所が増えており、高齢者の居場所が充実してきています。社会的な孤立を防ぎ、地域の中で関わりを持ちながら生活していけるよう、今後も居場所を増やしていくことが必要です。</li> <li>・子育て分野ではつどいの広場を新たに1ヶ所開設し、市内で3ヶ所になったため、利用できる人数が増えました。</li> <li>・地域活動支援センター「コンパス」は、精神障がい者が気軽に相談し、安心して活動できる場所となっており、毎年利用者数が増加しています。</li> </ul>
-------	---

審議会の見解	居場所づくりにおいては、多様な利用者に対応し、環境にも配慮する必要があると考えます。子育て応援ガイドを誰でも手軽に利用できるよう、配布方法を工夫してください。
--------	---

# 平成27年度「第4期 大和市地域福祉計画」評価シート

地域福祉計画体系	基本目標 ①	みんなが地域づくりに関わり、みんなで支え合えるまち
	個別目標 ④	地域福祉活動団体との連携をすすめます
	達成された姿	地域の福祉活動が活発に行われている 行政と地域福祉活動団体が積極的に連携し、様々な活動に取り組んでいます。

指標の名称		第4期 地域福祉計画			
		計画策定時 (H24)	実績値 (H27)	中間目標値 (H28)	最終目標値 (H30)
成果を計る 主な指標	(1) 市と要援護者名簿を共有している自治会の割合	66.4%	98.0%	85%	90%

主な取り組み	自治会、地区社協、民生委員児童委員の3者との連携により、災害時の避難支援の体制づくりや、体制づくりのための見守り活動を進めます。
	・避難行動要支援者支援制度の推進に関する、自治会ごとの会議に出席するなど、災害時の避難支援体制づくりを進めました。また、避難行動要支援者名簿(旧:要援護者名簿)の未共有自治会への働きかけを行いました。(健康福祉総務課)
	市が策定する地域福祉計画と社会福祉協議会が策定する地域福祉活動計画の連携を図り、より多くの市民参加を得た地域福祉の推進を図ります。
	・地域福祉活動計画との連携を図り、地区社会福祉協議会のつながり推進事業を支援しました。(健康福祉総務課)
	市民の地域における相談相手・支援者として、民生委員児童委員の円滑な活動を支援します。
	・市・地区民生委員児童委員協議会の事務局として、円滑な活動を支援しました。(健康福祉総務課)
	非行や犯罪のない明るい社会づくり、「福祉の心」の啓発などに活動している団体を支援します。
・大和市社会を明るくする運動推進委員会の事務局として、犯罪防止キャンペーンや地区集会の実施などの活動を支援しました。(健康福祉総務課) ・大和市福祉推進委員会の事務局として、「福祉の日の集い」における福祉功労者や福祉作文の優秀作品の表彰、市内小中学校における車椅子バスケットボール体験講座の実施など、活動を支援しました。(健康福祉総務課) ・大和・綾瀬保護司会の事務局として、円滑な活動を支援しました。(健康福祉総務課) ・大和市更生保護女性会の事務局として、円滑な活動を支援しました。(健康福祉総務課) ・日本赤十字社大和市地区の事務局として、ボランティア団体である赤十字奉仕団の支援、救急法講習会の実施などを行いました。(健康福祉総務課)	

成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難行動要支援者支援制度では、各地区との名簿共有が完了しました。今後は推進メンバーの設定や、支援者選定、マップ作成など、具体的な支援体制構築に向けた取り組みを通じて、自治会等との連携を強めていきます。</li> <li>・各団体の事務局として、それぞれの活動の支援を行いました。団体によっては、構成員の高齢化により活動が縮小化しているなどの課題を抱えており、それらに対応するため、各種行事に参加しやすい雰囲気づくりや積極的な参加の呼びかけを行うなど、今後さらなる検討が必要となります。</li> </ul>
-------	---

審議会の 意見の	<p>避難行動要支援者支援制度について、各地区と名簿共有ができたことは評価できると考えます。今後、具体的な避難支援体制の構築を図る中で、自治会等地域との連携強化に努めてください。</p>
-------------	---

# 平成27年度「第4期 大和市地域福祉計画」評価シート

地域福祉計画体系	基本目標 ②	地域で暮らしやすい環境が整い、誰もが安心して生活を送れるまち
	個別目標 ⑤	支援が必要な人たちへの訪問活動を充実します
	達成された姿	支援が必要な人のためのしくみが整っている 支援が必要な人を早期に発見する体制が充実し、適切な対応が行える体制が整っています。

指標の名称		第4期 大和市地域福祉計画			
		計画策定時 (H24)	実績値 (H27)	中間目標値 (H28)	最終目標値 (H30)
成果を計る 主な指標	(1) 「地域の見守りと安心できるまちづくりに関する協定」の締結事業者数	6 事業所	12事業所	7 事業所	8 事業所
	(2) 特定健康診査受診者(特定保健指導対象者)への訪問指導件数 ( )内は訪問率	281 件 (17.1%)	472件 (32.8%)	500 件	600 件
	(3) 乳児家庭全戸訪問事業による訪問率 ( )内は訪問件数	94.5 % (1,845人)	100.2% (2,198人)	96.0%	98.0%
参考指標	(4) 民生委員児童委員による訪問件数	26,324件	23,381件	—	—
	(5) ふれあい訪問利用者数	505人	440人	—	—
主な取り組み	民間事業者などとの協定により、支援が必要な人たちを行政の適切な支援につなげます。				
	・「地域の見守りと安心できるまちづくりに関する協定」の締結を進めました。(高齢福祉課)				
	高齢者や障がい者等の実態を把握した上で、民生委員児童委員等と情報を共有し、日常生活の見守り支援や関係作りを行います。				
	・民生委員児童委員による訪問活動を行いました。(健康福祉総務課) ・地域包括支援センターと在宅介護支援センターが訪問活動を行いました。(高齢福祉課) ・ふれあい訪問員(地区社会福祉協議会ボランティア)による、高齢者への訪問活動支援を行いました。(高齢福祉課)				
	保健指導が必要な対象者を訪問し、生活上必要な支援や情報提供を行います。				
	・特定健康診査受診後、特定保健指導対象者への訪問指導を実施しました。(健康づくり推進課) ・乳幼児家庭への訪問による支援を実施しました。(すくすく子育て課) ・出産後間もない時期の家庭等へ臨床心理士などの専門職を派遣し、支援を実施しました。(すくすく子育て課)				

成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅で過ごされている高齢者の現状把握を行いました。調査結果をふまえ、民生委員児童委員等と連携し在宅高齢者の見守り等を一層充実させます。</li> <li>・乳幼児家庭に対しては、乳児家庭全戸訪問事業を通して早期の発見体制が整っており、引き続き支援を必要としている家庭の早期発見ができるよう維持していきます。</li> </ul>
-------	--

審議見会の	特定健康診査受診者への訪問指導事業や乳児家庭全戸訪問事業等から、訪問活動は活発であると評価できます。乳幼児家庭問題の早期発見は大変重要であり、引き続き実施してください。
-------	--

# 平成27年度「第4期 大和市地域福祉計画」評価シート

地域福祉計画体系	基本目標 ②	地域で暮らしやすい環境が整い、誰もが安心して生活を送れるまち
	個別目標 ⑥	相談体制を整え情報提供を充実します
	達成された姿	いざというときに福祉の相談ができる 子育てや福祉に関する相談、専門知識が必要な相談の体制が整っています。

指標の名称		第4期 地域福祉計画			
		計画策定時 (H24)	実績値 (H27)	中間目標値 (H28)	最終目標値 (H30)
成果を計る 主な指標	(1) 地域包括支援センターでの相談件数	39,165 件	51,661件	45,319 件	46,696 件
	(2) 子育て支援センターでの相談件数	2,165 件	3,434件	2,200 件	2,250 件
参考指標	(3) 子育てに関する相談窓口数	25ヶ所	33ヶ所	—	—
	(4) 高齢者に関する相談窓口数	12ヶ所	14ヶ所	—	—

主な取り組み	電話や窓口での相談から専門的な相談窓口まで、幅広く対応できる相談体制を構築します。
	・電話での24時間健康相談では、保健・医療に関する相談だけでなく、幅広い相談に対応しました。(健康づくり推進課) ・こころの健康相談専用電話を開設し、自殺予防のための健康相談を実施しました。(障がい福祉課) ・母子・父子自立支援員がひとり親家庭の身上相談に応じました。(こども総務課)
	市の関係機関や教室・サロンなど、地域の人々が気軽に集える居場所において、適切な情報提供や個別相談を行います。
	・障害者自立支援センターにおいて、障がい者の相談に応じました。(障がい福祉課) ・出張健康相談などにより、地域で健康相談や健康教育を行いました。(健康づくり推進課) ・つどいの広場(市内3ヶ所)や子育て支援センターにおいて、子育て相談に応じました。(こども総務課) ・保育所では、専門機能を生かし、地域で育児の悩みを抱えている保護者等の相談に応じました。(ほいく課)
	生活困窮者の支援の体制づくりを検討します。
	・生活困窮者自立相談支援窓口を開設し、支援をしました。(生活援護課)

成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンや教室における情報提供を行ってきましたが、今後さらに多くの人に情報提供ができるよう、様々なテーマの教室等を実施していきます。</li> <li>・婦人相談員を1名増員し2名体制となったため、相談員同士で情報共有し、よりきめ細かな相談業務が可能となりました。</li> <li>・高齢者が気軽に相談できる総合的な相談窓口が必要となってきたため、地域に密着し、よりきめ細かいフォローができる体制の相談環境を整えていきます。</li> <li>・生活困窮者自立支援法に基づく自立相談窓口を平成27年4月から開設し、経済的に困窮している人が自立した生活を維持できるよう支援を行いました。相談者一人ひとりの状況に応じたきめ細かな支援を行い、自立を手助けしていきます。</li> </ul>
-------	--

審議見会の	<p>婦人相談員が2名体制となったことが評価できると考えます。 子育て支援センターの相談件数の増加がみられます。引き続き、相談対応の質が確保できるよう努めてください。 生活困窮者世帯の児童に対する学習支援の充実を図ってください。</p>
-------	--

# 平成27年度「第4期 大和市地域福祉計画」評価シート

地域福祉計画体系	基本目標 ②	地域で暮らしやすい環境が整い、誰もが安心して生活を送れるまち
	個別目標 ⑦	包括的で継続的な支援の体制を整えます
	達成された姿	支援が必要な人が安心して暮らしている 支援が必要な人を支援する体制が整い、適切な支援が継続して受けられます

指標の名称		第4期 地域福祉計画			
		計画策定時 (H24)	実績値 (H27)	中間目標値 (H28)	最終目標値 (H30)
成果を計る 主な指標	(1) 要保護児童対策地域協議会への参加機関数	15 機関	20機関	18 機関	20 機関
	(2) 地域包括支援センターでのケース検討件数	1,806 件	1,728件	1,860 件	1,870 件
参考指標	(3) 地域ケア会議の実施回数	45回	53回	—	—
	(4) サービス等利用計画作成件数(障がい福祉)	324件	1,482件	—	—

主な取り組み	ケアマネジャー連絡会議や障害者自立支援協議会等、関係機関との連絡会議を開催し、情報共有を行います。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジャー連絡会議を年3回開催しました。(介護保険課)</li> <li>・障害者自立支援協議会を開催し、地域の課題等について情報共有を行いました。(障がい福祉課)</li> <li>・包括・在宅ケア会議を実施し、地域包括支援センター・在宅介護支援センターとの情報共有を行いました。(高齢福祉課)</li> </ul>
	ケースワーカーや保健師等が継続的に相談支援や、関係機関とのケースカンファレンスを行い、個別支援計画に基づいた支援を行います。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援方針検討会議を実施しました。(障がい福祉課)</li> <li>・ケースカンファレンスや地域ケア会議を行い、それぞれの世帯の状況に合わせた支援方針を策定しました。(高齢福祉課)</li> <li>・個別の要保護児童等に関する具体的な支援内容等の検討を行いました。(すくすく子育て課)</li> </ul>

成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの分野でケースカンファレンスや支援方針検討会議を開催し、関係機関との連携を図りながら、個別の状況に合わせた継続的な支援を行っています。</li> <li>・個別レベル、日常生活圏域レベルの会議を通じて、個別課題解決・地域のネットワーク構築を実施し、関係者と課題を共有し、ネットワークを強化しました。今後も、地域のネットワークづくり・地域ケア会議の充実を図ります。</li> </ul>
-------	--

審議会の意見	平成27年度実績では、地域ケア会議が53回実施されており、地域包括支援センター1施設を平均すると約年6回程度の開催とされ努力がうかがわれますが、地域における様々な課題の解決や共有の場となり大変重要なものであるため、今後さらなる充実を図ってください。
--------	--

# 平成27年度「第4期 大和市地域福祉計画」評価シート

地域福祉計画体系	基本目標 ②	地域で暮らしやすい環境が整い、誰もが安心して生活を送れるまち
	個別目標 ⑧	地域で暮らしやすい在宅サービスを提供します
	達成された姿	地域で暮らし続けていくための支援が受けられる 地域の中で安心した生活を送るための必要な在宅サービスが利用できています

指標の名称		第4期 地域福祉計画			
		計画策定時 (H24)	実績値 (H27)	中間目標値 (H28)	最終目標値 (H30)
成果を計る 主な指標	(1) 生活保護受給世帯のうち、働ける世帯	21.8%	17.0%	20.6%	20.0%
	(2) 小規模多機能型居宅介護事業所数	7 事業所	8事業所	9 事業所	11 事業所

主な取り組み	訪問介護やデイサービス等利用者のニーズにあった在宅サービスの充実を図ります。
	・在宅福祉サービスについては、利用者は増加傾向にあります。概ね必要とするサービス量の支給を行いました。(障がい福祉課、すくすく子育て課、介護保険課)
	福祉有償運送等による安定した輸送サービスを確保します。
	・協働事業により協定を締結している、市内福祉有償運送事業者に対し、駐車場の提供や広報による周知などの活動支援を行いました。(障がい福祉課) ・障がい者の社会参加や余暇支援を促進するため、ガイドヘルパーによる移動支援事業を実施しました。(障がい福祉課、すくすく子育て課)
	短期入所事業等、介護者の負担を軽減する事業の充実を図ります。
	・短期入所サービスなどに対して、給付費を支給しました。(障がい福祉課、すくすく子育て課、介護保険課) ・放課後等デイサービスや短期入所など、対象者は増加していますが、概ね必要とするサービス量の支給を行いました。(すくすく子育て課)
就労支援も含めた総合的な自立支援を行います。	
・障がい者の就労移行支援事業を行い、本人の特性に合った就労に結びつけました。(障がい福祉課) ・生活保護受給者の早期の自立をめざし、ハローワークとの連携や就労支援員を活用した就労支援を実施しました。(生活援護課) ・ひとり親家庭の就職を促進するため、資格取得や教育訓練の受講を支援しました。(こども総務課)	

成果と課題	<p>・在宅福祉サービスについては、概ね充足していますが、今後、介護が必要な高齢者や障がい児者は増加する見込みのため、さらなるサービスの充足が必要となります。また、障がい児者の短期入所においては、市内での対応人員が少ないことから、グループホーム等を活用した短期入所事業の実施が望まれており、実施にむけた検討を行いました。</p> <p>・福祉有償運送事業など移送サービス等の実施を通じて、移動制約者が外出しやすい体制が整えられています。</p> <p>・小規模多機能型居宅介護事業所の増設に向けた準備を行いました。平成28年度に看護小規模多機能型居宅介護事業所をあらたに整備する予定です。</p>
-------	--

審議会の	障がい児者の短期入所施設について、新規の設置が難しく課題が多いと考えられますが、増加に努めてください。
------	---

## 平成27年度「第4期 大和市地域福祉計画」評価シート

<b>地域福祉計画体系</b>	<b>基本目標 ②</b>	地域で暮らしやすい環境が整い、誰もが安心して生活を送れるまち
	<b>個別目標 ⑨</b>	権利擁護の仕組みづくりを推進します
	<b>達成された姿</b>	権利擁護サービスを受けられる体制が整っている 判断能力が不十分な人を支援する体制が整い、必要な支援を受けることができます。

指標の名称		第4期 地域福祉計画			
		計画策定時 (H25)	実績値 (H27)	中間目標値 (H28)	最終目標値 (H30)
<b>成果を計る 主な指標</b>	(1) 成年後見制度講演会 受講者数	109人	51人	170人	210人
<b>参考指標</b>	(2) 成年後見制度 市長申立て件数	10件	9件	—	—

<b>主な取り組み</b>	<b>法人後見や市民後見等の仕組みづくりに取り組みます。</b>
	・法人後見や市民後見を行う組織や体制についての検討を行いました。(健康福祉総務課) ・法人後見事業の人件費補助による予算化を図りました。(健康福祉総務課)
	<b>成年後見制度の市長申立てと日常生活自立支援事業等の利用補助を行います。</b>
	・預金の管理や手続き支援を行う日常生活自立支援事業の運営補助を行いました。(障がい福祉課) ・成年後見制度の市長申立て及び後見人に係る報酬の助成を行いました。(高齢福祉課・障がい福祉課)
	<b>権利擁護に関する講座や講演を開催します。</b>
	・成年後見制度講演会を開催しました。(高齢福祉課)

<b>成果と課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人後見事業に関する、平成28年度からの補助について準備をしました。今後は、事業の成熟度を勘案しながら、市民後見人養成についての委託化を検討していきます。</li> <li>・市長申立に係る審判請求費用、後見人の報酬に対する助成など成年後見制度を利用するためのサービスが充実しています。</li> <li>・成年後見制度講演会の実施など、継続して普及啓発に努める必要があります。</li> </ul>
--------------	--

<b>審議会の</b>	<p>成年後見制度について、より多くの人に周知するため、講演会の実施にあたっては引き続き工夫をしてください。</p> <p>法人後見について、市の対応を検討したことが評価できると考えます。今後は市民後見制度についても推進してください。</p>
-------------	---